



巴屋まひり

榎若流創流20周年特別企画記念公演
榎若勸二郎／榎若勸助

題字―前東大寺管長・清水公照書



明治座

'81 10月28日(水)
午後5時30分開演

新しい出発に向けて

爽やかな秋―誠によい季節を迎えて久方ぶりに巴屋まつりの開催でございます。お客様方にはようこそお越し下さいまして厚く厚く御礼申し上げます。今年には私共兩人が榎若流を創りましてより二十年の歳月が経ちました。早いものでアツと云う間に過ぎたような気がします。二十周年を迎えて我が榎若流は挙げて祭り気分でワッショイ／＼節目／＼で祭りをして染分け手綱をきりりとしめて一から出直す心持ちで明日に向って頑張る。そんな私共が十周年の時に始めたのが巴屋まつりだったのです。後援会も応援してくれて。それはそれは楽しい舞台を作ってまいりました。幾つかの思い出の名舞台も残りました。舞台とお客様が一体となって楽しく過ごす―榎若ならではの催しと自負致しております。記念の年を迎えて今年には五月に「榎若会」を国立大劇場で。又七月には勸二郎夏に踊ると題してABCホールでリサイタルを開き大きな記念公演を二つも消化して大成功を納めてまいりました。こうした催しと共に近年。特に私共が日本舞踊の高い芸術性を求めて研鑽に努めてまいりました甲斐あって皆様にもお認め頂きその一つ／＼の舞台は誠に充実感に満ち／＼たものとなりました。でございます。しかし人は時として己れのみとして皆様方を忘れます。系類ない私共が今日あるのは私共を心より支援して下さいました観客の皆様方でありその原点を知り大切さを考える時。皆様方に感謝の気持で贈る舞台が巴屋まつりでありその企画は先ず楽しく喜んで頂ける御礼のプレゼントでなくてはならないと云うことです。巴屋まつりは理屈ぬきのショウ舞台であります。このたびはその感謝の気持をこめて企画を練り上げ。私（勸二郎）が初めて歌番組に挑戦してみました。丁度。周囲の勧めもありまして歌謡曲をレコーディングしましたのでその披露もかねて唄わせて頂きます。踊りに歌にそしてお芝居に―さて／＼いかが相成りますか。

榎若流二十周年の記念の諸公演も今晚の明治座公演ですべて終りとなります。本当に皆様方には有難うございました。どうぞ終演迄ごゆるりとお楽しみ下さいますようお願い申し上げます。私共も今晚は羽目はずして客席に飛び込んでまいります。すばらしいショウ舞台を作り上げて下さったゲストの出演者の方々そしてスタッフの皆さん。ご協力を頂いた明治座さん。キングレコードさんに心より御礼を申し上げ私共の歩んで来た二十年を大いなる糧として二十一年目に向って新しい出発を致したいと存じます。どうぞ今後共私共にお力添えと限りない御声援を賜りますようお願い申し上げます。

昭和五十六年 錦秋

榎 若 勸 二 郎
榎 若 勸 助

榎若勸二郎 構成・演出・振付

'81 巴屋まつり

プログラム

制作 榎若勸助

第一部

榎若勸二郎歌のオン・ステージ

榎若勸二郎 構成・演出・振付 / 洋舞構成・振付 児島日出夫 / 司会 / 穂高五郎

榎若勸二郎オリジナル歌謡第一作!

室町京之介 作詞 / 川上英一 作曲・編曲 / キングオーケストラ

雁のたより

室町京之介 作詞 / 川上英一 作曲・編曲 / キングオーケストラ

流れの女

すきま風

雨の東京

踊りコマ・ダンス舞踊団

おんな船頭唄

達者でナー

カンジロウダンス・ダンス・ダンス

踊り 榎若勸二郎
コマ・ダンス舞踊団

白鷺三味線

踊りコマ・ダンス舞踊団

流転

踊り 榎若勸助

一本刀土俵入り

中山七里

大利根無情

榎若流20周年記念制作

榎若勸助 作詞 / 川上英一 作曲・編曲 / キングオーケストラ

榎若音頭

踊りコマ・ダンス舞踊団

第二部

室町京之介 作 / 山口俊郎 作曲 / 唄 二葉百合子
お七
吉三 恋の緋鹿の子

— 三場 —

● 第一場

夢の場

お七 榎 若 勸二郎
吉三 榎 若 勸助

● 第二場

お七の部屋

お七 榎 若 勸二郎
お杉市 川 福之助

● 第三場

吉祥寺の場

お七 榎 若 勸二郎
吉三 榎 若 勸助
お杉市 川 福之助
捕手 坂東薪二郎
高橋敏広

第三部

勸二郎・勸助

花の連舞

— 全四景 —

● 第一景

二つ巴花の舞姿

榎 若 勸二郎
榎 若 勸助

● 第二景

流れの女

榎 若 勸二郎
榎若勸誠塾々生

● 第三景

双蝶夫婦花笠

榎 若 勸二郎
榎 若 勸助
坂東薪二郎
高橋敏広

● 第四景

笑涙哀身形振

榎 若 勸二郎
榎 若 勸助
コマ・ダンス舞踊団
榎若勸誠塾々生

ファイナーレ

全 員

幕

熱唱 榎若勸二郎が唄って踊る

オリジナルレコード第一作

好評発売開始!

室町京之介 作詞
川上英一 作曲・編曲

流れの女

(唄・台詞) 榎若勸二郎
キングオーケストラ

台詞 『あゝあ 寒い。また雪ね。』

とけたら、どこへ流れてゆく
のだろう。いくらでも降るが
いい。どうせ流れの女だもの
……』

一、すてた春だと あきらめた

一夜ぐらしの 湯の町で

あゝあ 忘れぬ

花に眠れと 泣きながら

死ぬ程好きだと 言った人

台詞 『何を言うのよ。そんなセリフ
は、もう聞きあきたの』

二、殺ろし文句に ほだされて

泣くにや世間を 知りすぎた

あゝあ でもなぜか

抱いて泣いてた あの姿

嘘じゃ涙は 出ないもの

台詞 『あたしって馬鹿ねえ。今ん
なって泣くんなら、あの時素
直に喜んで、あの人の胸に、
すがればよかった……』

三、一人しみじみ 飲む酒の

涙まじりの ほろにがさ

あゝあ さようなら

二度と会えない 流れの女

あすは吹雪の 港町

室町京之介 作詞
川上英一 作曲・編曲

雁のたより

唄 榎若勸二郎

三味線 豊寿・豊寿由記
キングオーケストラ

一、帰るあてない 雁に

返すあてない 一筆で

御無事をお祈り おりそろと

頼んだ文の 仮名書きは

思いの竹の 細い節

二、すてて又書く 片便り

いろのいろはの くり返し

お便りおん待ち おりそろも

かしこと書けず しら紙に

涙のにじむ あとばかり

三、もしも無情の 旅空で

ちりぬるならば このこころ

伝えて下さい 雁さん

恩にきますと 泣いたとて

風は冷たい 空だのみ

製作 キングレコード

●出演者

榎若勸二郎
榎若勸助

コマ・ダンススタジオ

踊り今野優子
美苗朱実
岡本はつみ
朝霧けい
浅利悦子
浅田弓子
松兼栄子
木下あづさ

榎若勸誠塾

榎若勸澄
高橋由佳理
二階堂由美
森田江津
逸見律子
高橋美登利

坂東薪二郎
高橋敏広

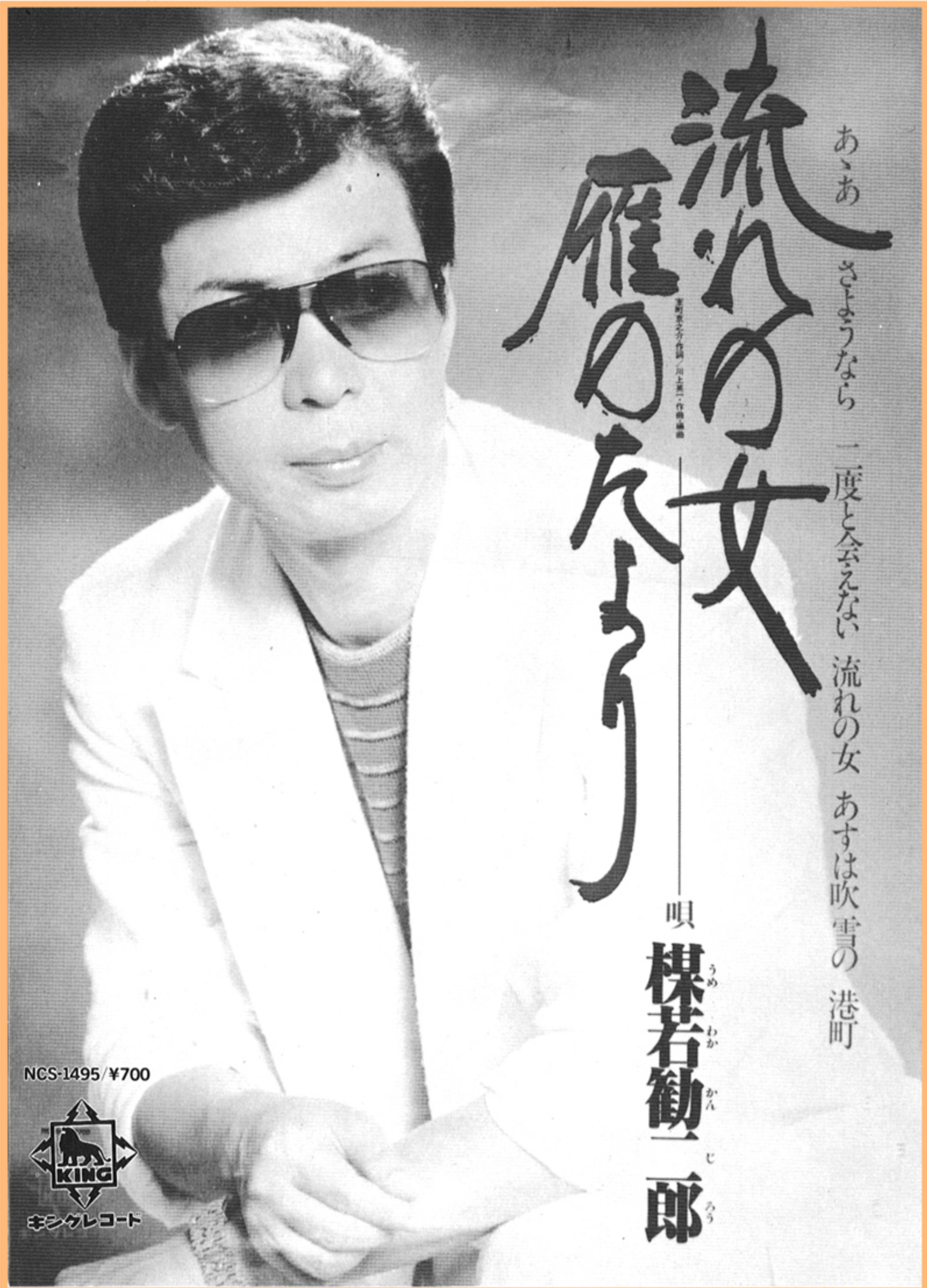
市川福之助

司会 穂高五郎

●スタッフ

構成・演出・振付 榎若勸二郎
洋舞・構成・振付 児島日出夫
音楽担当 川上英一
美術担当 阿部純久
大道具 具 明治座 大道具
照明 明 小河 威博
音響 響 東京アトプロ
音響 響 稲田 優
舞台監督 竹柴太郎
衣裳 裳 市川 衣 裳
衣裳 裳 東京 衣 裳
かつら 寿々々 喜
小道具 具 松竹 小道具
メーキング 具 原 多美子
後見 見 風間 清介
制作 作 榎若勸助
企画 企 榎若勸助
企画 企 榎若勸助
協力 力 明 治 座
主催 催 日本舞踊榎若流
榎若事務所

●後援
電話 03-672-8825
榎若事務所
榎若勸助ファンクラブ



あゝあ

さようなら

一度と云えない

流れの女 あすは吹雪の港町

流れの女 雁のふり

唄
榎若勸一郎

NCS-1495/¥700



キングレコード